

特集

戦時下の学生



特別展「戦時下の学生」
 (二〇〇五年七月～十一月開催)

戦後六十年を迎えた昨夏、図書館の協力を得て表題の特別展示をおこないました。展示は、当時から六十年余年を経て同じキャンパスに学ぶ学生と同世代の旧制横浜専門学校生が、どのような学生生活をおくっていたのか、その時の社会情勢はどのようなものだったのかを当時の資料や写真で紹介したものです。

特別展には本学学生、教職員のみならず近隣の方々や卒業生も来場されました。

会場でのアンケートに寄せられた参観者のご意見、ご感想等の一部をここに紹介いたします。

◆当時の学生も、学校祭などの催しを行なっているとは知らなかった。(在学生) ◆戦争というリアリティがない今、こうして自分とつながる人が事実として戦闘の当事者であったことを見せて頂けて感謝します。(卒業生) ◆大森利正氏の台湾沖航空戦での戦死、論叢誌の上原専禄氏の寄稿など厳肅かつ興味深く拝見しました。(大学院生) ◆貴重な資料が見れて戦争が身近に感じました。(在学生) ◆当時を思い出し今の世の中には理解出来ぬ状況と感しました。(市内在住) ◆一般市民の目線の展示が多く、興味をひかれました。(大学院生) ◆親世代におもいはせて…。そして息子世代をおもいしばらく見入ってしまいました。(市内在住)

この度は、『宮陵』編集部のご好意により、皆様に展示の一部を誌上でご覧頂くことになりました。誌面をお借りして、お礼申し上げます。(資料編纂室)

卒業生 頑張る。#60

瀬川晶司さん

平成13年
第二法学部法律学科卒

まだスタートライン

昨年11月、日本将棋連盟に特例で開催して頂いたプロ編入試験に3勝2敗で合格し、35歳にして子供の頃からの夢であったプロ棋士になることができました。マスコミ等でも「サラリーマンの挑戦」と取上げられたので記憶にある方もいらっしゃるかと思います。今回はプロへなるまでの経緯とこれからの抱負を書かせていただきます。



僕は14歳のとき中学生の将棋全国大会で日本一になり、プロ棋士になるための唯一の養成機関である「奨励会」に入会しました。奨励会は将棋が強いのはもちろんですが、プロになるという明確な意思を持つ者が集まるところです。厳しい入会試験を通った者同士で、更に鎔を削るわけですから鍛えに鍛えられます。タイガーマスクの「虎の穴」のようなイメージでしょうか。

僕は14歳のとき中学生の将棋全国大会で日本一になり、プロ棋士になるための唯一の養成機関である「奨励会」に入会しました。奨励会は将棋が強いのはもちろんですが、プロになるという明確な意思を持つ者が集まるところです。厳しい入会試験を通った者同士で、更に鎔を削るわけですから鍛えに鍛えられます。タイガーマスクの「虎の穴」のようなイメージでしょうか。

しかやってこなかった男が26歳という年齢で、これから何をすればいいのかわからない不安。明日も何もかもが無くなってしまったと思うた人生最悪の日でした。その日や境に将棋は一生指すまいと決めました。

アマチユア将棋界に復帰後、いくつかの全国大会で優勝しました。アマチユア大会で優秀な成績を取めると、特別にアマチユア代表としてプロ公式戦に参加することができます。ここで僕はプロに対して17勝6敗と約7割の異常ともいえる高勝率を取めたのです。そして周りから僕にプロへの道がないのはおかしいという声がかつてきました。

奨励会に入会できるのが、5人に1人。そして奨励会を抜けて晴れてプロになることができるのは会員10人に1〜2名という厳しさです。また奨励会には年齢制限があり、「26歳までに四段になれなければ退会しなければならない」という規定があります。

それからは言葉では言い表せないほどショックでした。子供の時からプロへの夢が完全に絶たれたという絶望。またこれまでに将棋

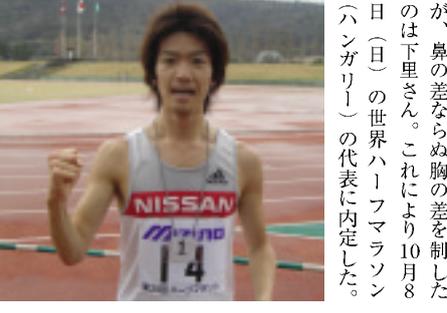


▲今年2月 大学で白井理事長と

ただ大学生生活と社会人生活を経験して、奨励会時代とは違ったものが僕には見えていました。それは「好きなことを職業にする」とこの素晴らしいです。でも自分の本当に好きなことを一生の仕事にできるといふのは、何にも替えがたい幸せなのではないかと……。

僕は第二法学部でしたが、同クラスのサラリーマンの方、看護婦さんの方、50歳代の方など、色々な方と付き合い合っているうちにいつしか、奨励会退会時の挫折感はなくなっていました。そのうちまた将棋を指したくなっていた自分に気がきました。元々、将棋は大好きでしたし、こんな面白いものをやることはないと思っ直しました。「プロにはなれなかったけれど、趣味として楽しもう」と思えるようになったのです。

プロになりたいたいという意思を表明したところ、予想をはるかに超える反響がありました。「実力があれば年齢に関係なくプロにすべき」とマスコミが取上げてくれました。アマチユアの強豪や、奨励会時代に一緒に修行したプロの棋士達も応援してくれました。一般の将棋を知らない方もプロの門を開くべきと後押ししてくれました。



下里和義さん

平成16年
法学部法律学科卒

ハーフマラソン優勝

平成18年3月12日に山口県維新百年記念公園陸上競技場発着で行われた全日本実業団ハーフマラソン大会で本学出身の下里和義さん（日産自動車所属）が1時間2分の好タイムで優勝。ゴールでは4人が同タイムという僅差だったが、鼻の差ならぬ胸の差を制したのは下里さん。これにより10月8日（日）の世界ハーフマラソン（ハンガリー）の代表に内定した。

こうして僕は昨年11月6日付けでプロ棋士になることができました。もっともまだスタートラインで夢の入口に立ったばかりです。プロ棋士になることが最終目標で

は無く、プロの世界でトップになることが目標です。好きなことを職業にできる幸運に感謝して、力の限り精一杯頑張っていきたいと思っています。
諸先輩また後輩の方々、同じ大学のよしみで（笑）ぜひ応援してください!!

夢が叶った瞬間

そして新たな挑戦へ

47対17。

年頭の1月3日、東京ドームで行なわれたアメリカンフットボールの最高峰、日本選手権「ライスボール」のファイナルスコアである。東京ドームに響き渡る社会人代表の勝者オービックシーガルズの雄叫び、学生代表の法政大学を讀める声、その歓声の中心に2003（平成15）年法学部法律学科を卒業した、龍村 学氏（QB・クォーターバック）の姿があった。

龍村氏は本学卒業後、一年間の練習生期間を経て社会人チームの強豪オービックシーガルズに入団。2005年春からスターターとなり、春の一番ボールボールに優勝しMVPを獲得、秋季には第19回日本社会人選手権ジャパンXボールとライスボールの制覇によりチームを史上初の三冠達成に導き、一躍、アメリカンフットボール界の寵児となる。スポーツジャーナリズムは龍村氏を「シンデレラボーイ」と呼ぶが、レギュラーを獲得するまでの道程は、「練習生時



代は攻撃チームの選手としてではなく、対戦相手を想定して行う守備練習用の仮想チームのQBをやっていました。」と龍村氏自身が語るように、決して平坦でなく、険しい峠を越しながら獲得したものであった。

スポーツジャーナリズムによる龍村氏の紹介には「無名の神奈川大学出身」「二部校出身者として初の日本一QB」との枕詞が必ず掲載される。これこそが、神奈川大学アメリカンフットボール部アトムズが一部昇格の戦いに挑み、敗れ続けてきた三十年来の歴史でもある。

2005年11月26日。調布アミノバイタルフィールドに燦然と輝く神奈川大学28、帝京大学21。サイドラインに整列する選手の肩が揺れ、咽び泣く声が聞こえる。スタンドのご父母、OBの笑顔、笑顔、笑顔。共にシーズンを闘い抜いた応援指導部のリードにより、笑顔と涙が入り混じった校歌が歌われる。神奈川大学アメリカンフットボール部アトムズが、創部以来の宿

願である一部リーグ昇格という重い扉を開け放った瞬間である。今年度主将の長尾 健君は振り返る。「苦しいシーズンでした。結果のでない春のオービマン戦、チームが一体化できないままの夏合宿、不安でしかたなく弱気になりそうな時、ほかの四年が支えにくれました。そうしたことを経て今日の勝利があると思います。」主将であるが故に主将にしか見えない、感じられないものが、この言葉に凝縮しているように思える。

一昨年、アトムズは二部リーグ



を全勝で制覇し、入替え戦に出場、一敗地にまみれた。試合後、山田主将は「また来年も後輩達と同じ目標を掲げさせることになってしまつて本当に申し訳ない」という言葉を添えてバトンを渡した。カレッジスポーツは受け継がれること、受け継ぐことに、その本質が

ある。これまで先達諸氏が培ってきた部の風土と伝統を継承するために、ご父母、卒業生を交えた「チームアトムズ」としてのチーム力を、どのように強化するのかが大きな課題だと考えられている。今シーズンはチームアトムズにとって最良の一年となった。龍村

氏は神奈川大学OBとして二年連続の日本一を、アトムズは一部リーグでの勝利を目指して、新たなシーズンに挑む。皆さんの応援、ご支援を心からお願いいたします。（水上 晃）



2003年3月法学部を卒業し、アメリカンフットボールチームのオービックシーガルズに入団し、2005年6月に行われた第30回パールボールのMVP受賞など、活躍が華々しい龍村学さんにインタビューをしました。（2005年7月15日）

■アメフトを始めたきっかけは
横須賀学院中学の3年生の時、高校のアメフト部の練習に仲の良い友達と参加してみたことが、きっかけです。

■学生時代と社会人として大きく違う点を教えてください。
学生時代は、どこかやらされていた感がありますが、社会人は本当にやりたい人だけが集まっているという気がします。

■ MVPの感想は
素直に嬉しかったです。チームの人たちも一緒に喜んでくれたことが、一層うれしかったです。何が評価されたと思いますか。
パス成功率が75%（16投中12成功）だったことが大きな要因だったと思います。また、審判員の方全員満場一致で私を指名していただいたと聞いています。

この後、パールボールを制したオービックシーガルズは、秋季にも史上初となるリーグ優勝・社会人王者・ライスボールを制覇し四冠を達成した。

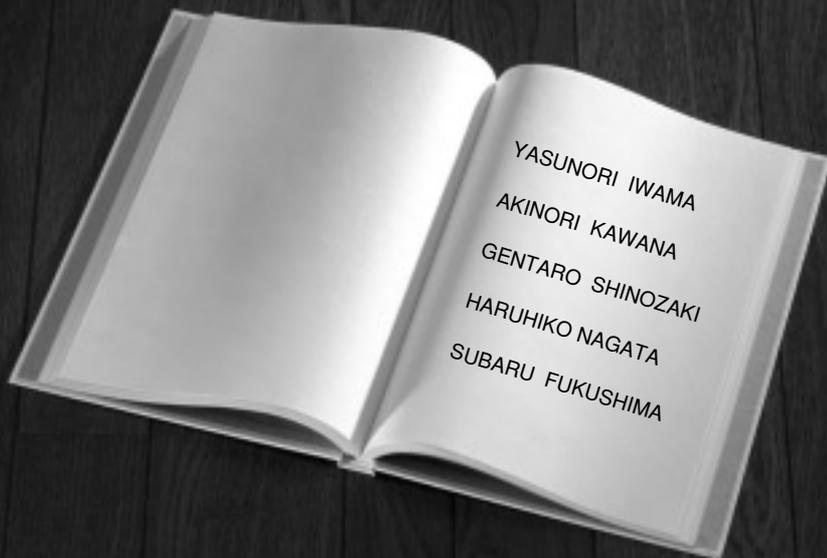
- 当時の手塚監督に、高校3年の時に誘っていただきました。
- 実力のある一部リーグで活躍する大学に行くことは思わなかったのですか？
いいえ、手塚監督に誘ってもらったのが大きかったです。今思えば、神大でプレー出来たことを誇りに思います。一部リーグで活躍する学校を倒すという意気込みで練習できました。
- 大学時代で最も印象に残ったのは？
一部と二部の入れ替え戦が、12月だったので、寒かったのを覚えています。冷たい雨が降る冬の日の、体の芯まで冷え切っていたのを覚えてます。

- 「No pain, no gain」は、痛みを伴わなければ何も得るものはないという精神です。
- これからの目標は
このチームで日本一になることです。

龍村学さんプロフィール
・逗子市出身
・横須賀学院中・高出身
・2003年神大法学部卒業
・178 cm 81 kg

ONLY YESTERDAY

オンリー・イエスタデイ



自転車で「アメリカ大陸横断」に挑戦

昭和41年工学部電気工学科卒業

岩間

康徳

早いもので卒業して40年になり、還暦も過ぎた。

大学では吹奏楽部に入り、3年次にはマネジャーをやり、クラブも全国大会で第3位として2位となり、私にとっては大きな経験として自信となった。

大学4年の時に自転車で東海道を走った経験から、46歳になった年に再度トライした。夏の休暇を利用して山陽道を走り、その後も毎年夏に北海道縦断、九州縦断、東北道、山陰道、そして四国一周と長距離を走り、日本の主な国道を走って来た。韓国縦断にも足を伸ばした。56歳時に日本縦断の鹿児島県佐多岬から北海道宗谷岬までの2、880 Km（19日間）を走り、国内はこれで完結したことにした。次のステップとして、趣味である自転車の集大成をしようと、最後の長距離のツーリングを計画した。

コース選びの条件として、日本縦断の距離の3倍前後で、言葉が通じ、治安がよく走りに徹することができ、歴史と自然を満喫できる所、と云うことでアメリカ横断に決定した。どうせ走るならアメリカの旧「ルート66」



across USA map

を通り、大都市のニューヨークを覗いて大陸横断とし、アメリカ発揚の地ボストンまでと、ルートを決定した。

前段階として、北海道の主な峠を1日120 Kmで走り、日本縦断では毎日150 Km以上で走り切る事ができ、アメリカ横断の可能性が見えてきた。そして60歳で定年退職となり、翌年の2004年4月にこのアメリカ横断を決行し、約6、000 Kmを1日平均約130 Km、46日間で無事完走することができた。

スタート地点としたロスアンゼルス（LA）では、音楽教室・専門店を経営する後輩の家に泊めて頂き、完走後は「G」在住のもう一人の後輩と共に完走パーティをやり、40年前のクラブ活動の話に花が咲いた。翌日には宮陵会「G」支部が私のために完走祝賀パーティを開いてくれ、二十数名のOBが集まってくれた。海外で活躍されている同窓の方がこんなに多く居られ、又ご招待頂き、本当に涙の出る感激をさせて頂いた。ありがとうございました。

神奈川大学に入り、そして吹奏楽部に入ることが、私の自慢話の一つです。



著者の近影



自転車での「アメリカの走り方」を著した本

After 34 Years (34年後の再会)

昭和47年経済学部貿易学科卒業

川名 明徳

神大47年卒業（貿易学科・法律学科）の仲間6人が集まった。理由は仲間の一人が自分で勝手に定年を決め「田舎（米子）に帰る」ということで、それを知った大学時代からの仲間が送別会をやるうと集まったのである。顔ぶれは多彩で、公務員、自営業、会社（証券会社、印刷会社、不動産会社など）の役員、医者など、いつの間にか学生時代には考えられなかった色々な分野で活躍している。これらのメンバーは大学を出てから、互いに忙しいこともあり長い間、時候の挨拶でその健在ぶりを知るか、一時は全く連絡が取れない状況になっていた者もいたが、風評でその居場所を知る程度であった。それが久しぶりに集まったのである。なかには34年ぶり（卒業後初めて）の仲間もいた。

思い返してみると、我々が入学した昭和43年は大学紛争の真っ只中の頃であり、大学の門をくぐると正面の本館前にあった植込の前に大きな立看板が幾つか立てかけられ、反体制、反権力闘争をアジイトする文章が独特の書体で書かれていたのが目立った。それでも入学当時は穏やかな雰囲気であり、学業にクラブ活動に青春を謳歌していたように思う。しかし夏休みが明けて試験の時期に入ると一変して、活動家たちが学生集会と称して試験ボイコットを決議し、試験がレポートに変わるなど次第に学内が学生運動家達で騒々しくなっていた。結局それは卒業するま



で続いたように思うが、特に試験期間前になると激しさを増したと感じたのは下衆の勤練りであったのだろうか。我々は当時ノンポリといわれた無関心派であり授業、ゼミナール（私はマーケティングの三浦ゼミ）、クラブ活動、バイト、遊びに熱中しており、学生運動にはほとんど関心がなかったから記憶に薄いのである。ただクラブ活動（私はR.O.S.に在籍していたが）も学生運動のあおりを食って、政治的色彩が濃くなっていったこともあり大学3年の後半頃からあまり参加しなくなったことはいまだに残念に思う。まあ、そのぶん友人達と課外活動、学外活動を楽しんだものである。

現在の自分を振り返ってみる時、アイデンティティの確立や人格形成にこの神大時代の友人関係、大学生活、下宿生活など全てが大きな影響を及ぼしているように思う。そしてその考え方や行動規範は現在もそのまま変わっていない。また、集まった仲間にも同様に感じられ、頭髪が変わったりしわが増える等の身体的経年変化はいかんともし難かったが、話し方、考え方、生き様などは熱く燃えて語った34年前の若者と全く変わってなく、まだ青春真っ只中という印象であった。話は尽きず、時のたつのも忘れて、昼過ぎから夜遅くまで熱く語った。いつになるのかは分からないが、次の何年後かが楽しみである。その時、集まるメンバーが増えていることを期待したいものである。

最後に、今回の集まりに声をかけたとしてもかけられなかった消息不明の当時の仲間が多く、この日集まった仲間の名前を記すことで消息不明だった我々の所在が明らかになることを期待している。今回集まったメンバーは、田子と夫、沼田 稔、春原正三郎、大森 誠、三津木博恵、川名明徳である。

神奈川大学時代は青春であり、その仲間は永遠なり……。友、遠方より来る、また楽しからずや。
神大が与えてくれた財産の34年後であった。
現 メイトクリニクス 鶴見院長
(医学博士・精神保健指定医)

六十数年前の 学生生活

昭和16年工学部電気工学科卒業

篠崎源太郎



昭和十四年四月私は新設された電気工学科第一期生として入学いたしました。昭和十六年十二月に学生の大東亜戦争の開戦により廃止され適齢期の学生全員が学校にて徴兵検査を受け、五体満足と合格の栄に浴し無事繰り上げでの卒業が出来ました。

三年間の学生生活は戦時下とは言えまだまだ自由でした。学校の近所には映画館、食堂、マージャン屋や玉突き、特に有難かったのはどこ迄乗っても七銭の市電でした。伊勢崎町や南京町等へも友と連れ添って出掛けました。通学は冬場は六角橋へ下宿し、その他は自宅から自転車や横浜線の淵野辺駅に行き横浜線と東横線を利用致しましたが、横浜線は八王子と町田間は汽車ポッポ、そして町田で電車に乗り換えるのですが、二時間に一本位の運行で通学には大変不便でした。

卒業の翌年の二月一日に学徒臨時入営の一員として終戦で復員する迄軍務に服しました。復員は昭和二十年十二月三十一日激戦地のフィリッピン島のレイテ島からですが、家に帰って玄関に入ると立派な応接セット等が積まれておりました。聞いたところによると学校が戦時中、我が家に重要書類等を戦禍を避ける為に避難させたとの事でした。が、その時一緒に運ばれてきたものでした。

学校も再開のため書類等は既に持ち帰えられておりましたが、応接セットはそのまま我が家に残されました。当時私は軍隊で南方に居りましたが今は亡き弟が電気科に在籍中に米田先生愛用の馬車の馬丁をして居られた同姓の篠崎さんとご近所であった縁で疎開先に選ばれた様です。戦火の最中に遠くまで馬車で荷物を運ばれたご苦労が偲ばれます。



米田学長愛用の馬車（学校本館前）



横浜線で通学していた仲間たち（昭和16年10月・篠崎氏は前方右より2人目）

今でも心に残る 石川ゼミの思い出

昭和58年経済学部貿易学科卒業

永田 晴彦

卒業して、23年経った今でも、忘れられない思い出がある。

私が所属した、石川博文教授のゼミ「多国籍企業論」の最後の講義の先生からの、メッセージである。私達は、ゼミ一期生、先生は、「ダイヤモンド社」からの転籍でいわば先生にとっては、初の教え子であった。当初は、生徒の扱いに戸惑いがあったかもしれない。しかし、先生も理想に燃えていた。

初めての講義では、海外企業の報告書、アニュアルレポートを、英文のまま読まれた。誰一人満足に読めなかった。先生は、神大生は英語ができない定評があると、少々皮肉を込めた言い回しをされ、嘆いた。私達は、落ち込むどころか、奮起し「ゼミ」と称し、自主的に予習会をつくり、講義について行くことがなされた。反発する者も、脱落者もなかった。

まとまりもあり、不思議に良い奴らばかり集まったような気がする。努力のかけがあり、講義について行けるようになり、ゼミの雰囲気も良くなっていった事を、肌で感じとった。先生の提案で、企業見学、ゼミ合宿、最後には、「自宅の食事会へも呼ばれた。大学生としての、手ごたえと、醍醐味を味わっていた。有名教授を、身近に感じた。充実した2年間のゼミが、あつと言う間に過ぎて行った。

そして、ついに、最後の講義の日を迎える事となった。全員の進路先、就職先を確認すると、先生が話し始めた。普段冷静な先生が、熱く語り始めたのだ。ゼミ一期生として、大いに盛り上げてくれ

て有難う。過去10年（私達は、1983年卒業）つまり1970年代は、産業、経済界はハードウェアの時代。機械、設備投資等、インフラ整備が重要な時代である。現在1980年代は、ソフトウェアの時代。情報、コンピュータサービスの時代である。

そして、10年後は、ヒューマンウェアの時代の到来である。人間性がものを言う時代が来る。

その時は、人間味溢れる君達が、活躍する時代だ。自信をもって社会に出てがんばれと、私達に最後のメッセージを送って下った。「人間味溢れる君達」なんという、賛辞だろう。社会に出る前の、何とも言いようのない不安を取り除き、背中を押してくれたのだ。私は、話しが終わらないうちに既に、感極まっていた。

最初の講義で、神大生は英語が出来ないと私達の心に火を付け、最後に温かい言葉で、勇気づけてくれた。初めて先生が伝えたかった真意がわかったような、気がした。社会に出て、不器用な私は、何回も、つまり、挫折をした。何度先生の言葉に救われたらうか。いつか、人間性がものを言う時代が来る。そう信じて、乗り越えてこれたのだ。良い教育、理想の師弟関係とはこういうものである。在学中に恩師を見つけようという私の最大の夢はかなった。何年たっても色あせない思い出である。石川先生有難う。

さすが、ゼミの神大である。こんな良い先生に出会えて良かった。

神大を選んで本当に良かった。大学冬の時代到来である。どういった大学が、生き残っていくのだろうか。どんなに厳しい環境にあっても、良き師が熱く語り、生徒がその思いを感じ取り、師弟関係をつくっていく。そういつた出会いがある大学が、生き残っていくと思われて仕方がない。



シェイクスピア英語劇 OBの集い

昭和35年経済学部貿易学科卒業

福島 昂

昭和三年後半から四〇年代にかけてのことです。神奈川大学がアカデミックな大学として評価されました。それにはシェイクスピアの作品をそのまま英語で演ずる「英語劇」が少し貢献しました。大学の優れた英語教授陣指導のもと学生達による本格的なシェイクスピア劇が毎年上演され「神奈川大学にシェイクスピア英語劇あり」と内外に発信、認知され、どちらから言えば当時二流ではんカラな神大のイメージをアカデミックにしたのです。

そのシェイクスピア英語劇研究会のOB達が全国から六一名も集い、この十月一日（土）午後五時から母校で盛大に開催されました。会場は横浜キャンパス19号館2食堂ラックス。大学の支援もあって、美味しい酒と料理で、五〇歳は過ぎた六一名のOB達が、青春の血を燃やし情熱の限りをつくした若かりし日に会い、あの時を語り合い、活気に満ちた楽しい集いでした。

出来事はひと昔前のことです。すでにあの時から47年から33年も過ぎています。それでも忘れえず六一名のOB達が集うとは、あの時の英語劇がそれほど強烈だったのです。その時の友が忘れえず、恋しいのです。OB会名簿では会員数が一四一名だそう、病氣や都合により出席できず残念がっているOB達がまだまだ大勢いるのです。会の終了後もOB達は白楽駅構内のカラオケスタジオに移動し、地下ルームを四室も借り切り、懐かしいあの頃の歌と語りいで深夜まで過ごしました。久々に学生時代にもどり、昔を偲び、別れを惜しみながら話は尽きませんでした。

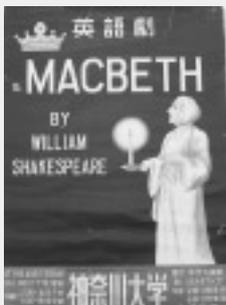
ここでユニークな存在だった「シェイクスピア英語劇研究会」の歴史をご紹介します。神奈川大学のシェイクスピア英語劇は著名な英文学者須藤賢吉教授のもとMSSの学生によって開始されています。その第一回公演は昭和三〇年の「アズ・ユウ・ライク・イット」で、第二回は昭和三十一年の「マクベス」でした。しかしそれはシェイクスピアの名ゼリフをジェスチャー交えながら舞台上で朗読するようなのだったそうです。これが第三回の「ジュリアス・シーザー」になると演劇的要素を加味した芝居に発展しています。しかし第一回から第三回までは複数の英語の教授が役者として舞台上に登場し、学生と教授とが共演する公演でした。それが昭和四四年第四回公演から学生のみ自主公演に変わり、MSSから切り離

され独立しています。この時の上演題目は「真夏の夜の夢」でしたが、従来の公演が学内の大講堂だったのにこの公演から舞台が桜木町野毛の神奈川県立音楽堂に移動しています。またこの「真夏の夜の夢」では東京芸術大学のオーケストラの賛助出演があり、芸大オーケストラが演ずるメンデルスゾーン作曲の「真夏の夜の夢」の生の音楽に乗せられた劇が上演されました。まさにミュージカルにも似た画期的なイベントに発展したのです。そのシェイクスピア英語劇は会を追うごとに発展を遂げ、数々の公演を成功させ神大のアカデミックなシンボルとなりました。

ところが突然、好評だった英語劇が中断される悲しい事件が起きました。それは当時の左翼学生による学生運動と言われています。一部の学生達が大学側と対立し、伝統ある英語劇を中止に追いこんだのです。大学から支出されていた公演資金が突如打ち切られ、第十五回「オセロ」公演に没頭していた当時の学生達はそれぞれ路頭に迷い、公演資金を「沖なかし」のアルバイトなどで稼ぎ、衣装や小道具は自分たちの手で作るなどの涙ぐましい努力の結果、「青少年ホール」での自費公演を成功させています。

以上がこれまで正確に判断している歴史ですが、昭和四四年第十五回の公演で中断した公演が、五〇年（一九七五）後半に「真夏の夜の夢」で復活し、その後「じゃじゃ馬ならし」、「ベニスの商人」も公演されたとの話があります。現在記録をたどる努力がなされていますが「存在の方は是非情報をお寄せください。これが「シェイクスピア英語劇研究会」の歴史です。が、十月一日

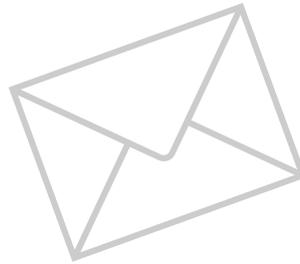
集まったOB達からは「この伝統が復活できないか」と大学と学生達に復活を熱望する声が多数ありました。



- 歴代公演題目
- 第一回 昭和三〇年 As You Like It
 - 第二回 昭和三一年 Macbeth
 - 第三回 昭和三二年 Julius Caesar
 - 第四回 昭和三三年 A Midsummer Night's Dream
 - 第五回 昭和三四年 As You Like It
 - 第六回 昭和三五年 Hamlet
 - 第七回 昭和三六年 Twelfth Night
 - 第八回 昭和三七年 Othello
 - 第九回 昭和三八年 The Merchant of Venice
 - 第十回 昭和三九年 Macbeth
 - 第十一回 昭和四〇年 A Midsummer Night's Dream
 - 第十二回 昭和四一年 King Lear
 - 第十三回 昭和四二年 The Winters Tale
 - 第十四回 昭和四三年 Twelfth Night
 - 第十五回 昭和四四年 Othello

本部だより

理事会開催状況
 代議員会
 通常総会
 監査
 全国支部長会議
 各種委員会開催状況
 支部総会関係開催状況
 同期同好会開催状況
 平成17年度表彰者
 支部の統合
 支部名称変更
 新支部長紹介
 叙勲
 訃報



理事会開催状況

- 平成17年4月23日(土)
議案
 一、平成16年度収支決算報告に関する件
 二、平成17年度補正予算に関する件
 三、表彰規程にもとづく被表彰者の決定に関する件
 四、推薦代議員に関する件
 五、社団法人宮陵会大学院給付奨学金規程改正(案)に関する件
 六、継続案件に関する件
 七、卒業生名簿の管理に関する件
 八、社団法人宮陵会課外活動支援特別奨学金規程(案)に関する件

する件

- 平成17年5月29日(日)
議案
 一、会長の選任に関する件
 二、副会長及び専務理事の選任に関する件
 三、常任委員長の選任に関する件
 四、名譽役員に関する件
 ●平成17年6月25日(土)
議案
 一、表彰委員会委員の選任に関する件
 二、特別委員会の設置及び委員の選任に関する件
 三、今後の会議日程に関する件
 ●平成17年7月23日(土)
議案
 一、役員等・代議員の就任に関する件

- 二、全国支部長会議に関する件
 三、特別委員会委員長の選任に関する件
 四、支部名称の変更に関する件
 五、「地域支部長と地方出身学生との懇談会」企画に関する件

●平成17年9月30日(金)

議案

- 一、全国支部長会議に関する件
 二、設立60周年記念名簿在庫の取扱いに関する件
 三、理事の辞任に関する件

●平成17年12月10日(土)

議案

- 一、特別委員会の中間報告に関する件
 二、平成17年度第2回代議員会の日程に関する件
 三、支部の統合に関する件

●平成18年1月28日(土)

議案

- 一、平成18年度事業計画の変更及び補正予算に関する件
 二、平成19年度事業計画及び収支予算に関する件
 三、社団法人宮陵会定款の変更に関する件
 四、社団法人宮陵会定款施行規則の改正に関する件
 五、社団法人宮陵会表彰規程の改正に関する件
 六、平成17年度第2回代議員会の招集に関する件
 七、平成18年度第1回代議員会の招集に関する件
 八、平成18年度通常総会の招集に関する件

代議員会

- 平成17年5月29日(日)
議案
 一、平成16年度収支決算報告に関する件

- 二、平成17年度補正予算に関する件
 三、役員を選任に関する件

●平成18年3月12日(日)

議案

- 一、平成18年度事業計画の変更及び補正予算に関する件
 二、平成19年度事業計画及び収支予算に関する件
 三、社団法人宮陵会定款の変更に関する件
 四、社団法人宮陵会定款施行規則の改正に関する件

通常総会

●平成17年5月29日(日)

議案

- 一、平成16年度収支決算報告に関する件
 二、平成17年度事業計画の変更及び補正予算に関する件
 三、平成18年度事業計画及び収支予算に関する件
 四、代議員の承認に関する件
 五、役員承認に関する件
 六、名譽役員に関する件

監査

●平成17年5月18日(水)

平成16年度監査の実施

全国支部長会議

●平成17年10月15日(土)

- テーマ「組織の活性化と大学との連携」

第I部 「組織の活性化と広報」

- 札幌支部HP上映と発表

第II部 バネルディスプレイショー

- 「地方組織の活性化」

第III部 学生イベント ラテン音楽愛好会による演奏

各種委員会開催状況

●平成17年

- 4月8日 表彰委員会
- 9日 代議員選考委員会
- 15日 財政委員会
- 21日 顧問会議
- 5月7日 役員選考委員会
- 6月30日 広報委員会
- 7月7日 広報委員会
- 12日 婦人部委員会
- 15日 広報委員会
- 16日 体育振興委員会
- 25日 広報委員会
- 8月26日 定款等検討委員会
- 9月20日 財政検討委員会
- 21日 企画委員会
- 22日 財政検討委員会
- 10月11日 広報委員会
- 12日 婦人部委員会
- 16日 準会員委員会
- (秋のふるさと懇談会)
- 17日 定款等検討委員会
- 18日 企画委員会
- 19日 財政検討委員会
- 30日 婦人部委員会
- (女性会員のつどい)
- 31日 広報委員会
- 11月15日 定款等検討委員会
- 16日 企画委員会
- 17日 財政検討委員会
- 22日 広報委員会
- 28日 体育振興委員会
- 12月3日 専務理事・常任委員会委員長打合せ
- 13日 体育振興委員会
- 20日 広報委員会

●平成18年

- 1月13日 財政委員会
- 24日 広報委員会
- 2月27日 広報委員会

支部総会関係開催状況

- 28日 表彰委員会
- 3月8日 企画委員会
- (横浜市内区支部 設立準備会)

●平成17年

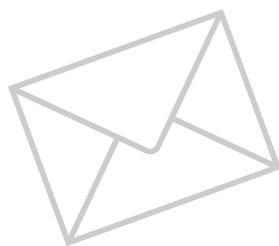
- 4月16日 四国ブロック会議
- 23日 香川支部総会
- 岡山支部総会
- 15日 宮内会支部総会
- 29日 神奈川大学ラグビー部OB会支部総会
- 5月14日 宮陵三四会卒後45年記念支部総会
- 21日 保土ヶ谷・旭区支部総会
- 22日 濱菊会支部総会
- 22日 清輝会支部総会
- 28日 三重支部総会
- 6月4日 北見支部総会
- 28日 大阪支部総会
- 5日 福岡支部総会
- 5日 神奈川大学写真研究部OB会支部総会
- 5日 西多摩支部総会
- みやも電華会支部総会
- 9日 箱根支部総会
- 11日 平塚支部総会
- 12日 南足柄支部総会
- 13日 茨城支部総会
- 18日 神奈川大学内校友会支部総会
- 18日 札幌支部創立65周年記念総会
- 群馬東毛支部総会
- 和歌山支部総会
- 神奈川大学陸上競技部OB会支部総会
- 空手部OB会支部総会

支部だより

- 愛媛支部 東予地区会
- 熊本支部
- 福岡支部
- 北九州支部
- 佐賀支部
- 佐世保支部
- 長崎支部
- 筑豊支部
- 大分支部
- 保土ヶ谷・旭区支部
- 神奈川区支部
- 津久井支部
- 箱根支部
- 平塚支部
- 西多摩支部
- 南足柄支部
- 日本鋼管支部
- 三洋みやも会支部
- クリエートメディック支部
- 会計人会支部
- 十五宮面会支部
- みやも電華会支部
- 三三会支部
- 宮陵三四会支部
- 原陵会支部
- ボクシング部OB会支部
- 空手部OB会支部
- アメリカンフットボール部
- OB会支部
- 柔道部OB会支部
- 学士山岳会OB支部
- レスリング部OB会支部
- ラグビー部OB会支部
- 卓球部OB会支部
- 清輝会支部
- 写真研究部OB会支部

- 北海道ブロック会議
- 東北ブロック会議
- 北陸ブロック会議
- 近畿ブロック会議
- 四国ブロック会議
- 九州ブロック会議
- 室蘭支部
- 宮城支部
- 石川支部
- 京滋支部
- 香川支部
- 鹿児島支部

- 札幌支部
- 函館支部
- 北見支部
- 青森支部
- 岩手支部
- 秋田支部
- 秋田支部 鹿角会
- 山形支部
- 新潟支部
- 千葉支部
- 茨城支部
- 群馬支部
- 群馬東毛支部
- 静岡西部支部
- 愛知みやも会支部
- 三重支部
- 大阪支部
- 奈良支部
- 岡山支部
- 伯耆支部
- 和歌山支部
- 兵庫支部
- 防長宮陵会支部
- 香川支部
- 高知支部
- 愛媛支部



- ① 大学・宮陵会からの出席者
- ② 開催場所
- ③ 参加人数
- ④ 開催コメント
- ⑤ 支部活動（年間予定）

北海道ブロック会議 室蘭支部総会

平成17年7月9日

- ① 理事長 大野 泰
- 秘書室 八重樫典子
- 副会長 武笠 建次
- ② ホテルサンルート室蘭 40名
- ③ 第8回北海道ブロック会議を平成17年7月9日（土）午後6時よりホテルサンルート室蘭で開催しました。会議開催は、地域の活性化を目標に各支部の持ち回りとした決定により、この度室蘭支部の主管で、各支部長（札幌、北見、帯広、函館、苫小牧、旭川、釧路、室蘭）と、大学より大野泰（23年工経）理事長、宮陵会から武笠建次（41年法律）副会長が臨席されました。

た。今回は、各支部事務局担当者や開催支部の会員も同席し、総勢45名で実施しました。校歌斉唱から始まり、本校の現状と今後の詳しい説明と、宮陵会の組織や財政、現在の全国的視野での報告があり、続いて各支部の現況報告、意見交換をして今後の課題について等、熱い会議でした。また記念講演として、室蘭市立図書館山下敏明館長も卓越した内容、神奈川大学の事も織り交ぜての洗練された言い回しで参加者も目からウロコの状態でした。

懇親会では、今噂の「室蘭やきとり」（同窓会員経営）が振る舞われ、アトラクションでは日本舞踊披露、会場内で講演者出版本をサイン入りで販売し、参加の皆さんの協力によ

り完了しました。この収益は「ふくろう文庫」（市民の寄付による図書館充実ボランティアグループ）に寄贈し、特価本の購入に活用され、寄付者神大北海道ブロック会議の名称が記載されます。

① 理事 白井 宏尚
専務理事 秋田 琢次
教授 三星 宗男

② 仙台エクセルホテル東急 オークの間

③ 70名（東北ブロック会含む）

④ 平成17年10月22日、東急エクセルホテルにて参加者53名にて宮城支部総会がとり行われました。今回特記事項としては、長年、宮城支部長として、宮陵会につくしてこられた菅原支部長が、この度辞任され、名誉支部長として新たに会につくしていただくことになりました。後任には小林新支部長が選任されました。また新たに畑中さんが新副支部長として選任、そして新幹事に鈴木さん、神農さん、高森さん、もと会計の斎藤さん

東北ブロック会議 宮城支部総会

平成17年10月22日



平成18年苫小牧、19年釧路、20年帯広での開催予定です。

⑤ 今年度（H17年）は北海道ブロック会議が室蘭支部主管で開催に合わせ行いましたので、10月頃に臨時総会と懇親会を予定しています。

が選任され、新会計には岩城さんが選任されました。また合わせて今回会場の支配人井上さんは神大OBであり、絶大なバックアップありましたことご報告します。

⑥ 今年度重点活動目標として、春・夏の懇親ゴルフ大会、石巻花火鑑賞大会（50名）、毎月第3水曜日の「そば処福はら」にての炉端懇親会など、会員間による同業、異業種交流、情報交流の充実をはかろうという共通テーマにて計画が確認されました。

① 理事長 白井 宏尚
副会長 武笠 建次

② 金沢都ホテル

③ 約50名

④ 1、北陸ブロック会議 北陸3県より30名参加。本支部に関して意見交換、状況説明をする。

2、石川支部総会 事業報告、会計報告、同監査、役員改選、事業計画等上程、採決。

北陸ブロック会議 石川支部総会

平成17年10月29日



3、記念講演会 神大OB 田中典康氏「七大陸制覇へ」懇親会。

① 1月 大学駅伝TV観戦

② 4月・12月 役員会（適宜開催予定）

③ 8月 OB親睦

④ 10月 ゴルフコンペ

10月 北陸ブロック会議（平成18年度は富山支部主管）

近畿ブロック会議 京滋支部総会

平成17年6月26日



① 常務理事 白井 宏尚
会長 狩野 七郎

② 京都新阪急ホテル 26名

③ 近畿ブロック会を開催。大学の現況の説明を頂き、要望・提言・質問等を行った。

④ その後京滋支部総会を行い、16年度の報告、17年度の活動予定を表明、イベント、懇親会を行った。

⑤ 新年会

総会 ゴルフコンペ

北部地区の活動を活性化を計る

四国ブロック会議 香川支部総会

平成17年4月16日



- ① 常務理事 白井 宏尚
秘書室 早川 智子
会長 渡辺 徳平
- ② ホテルニューフロンティア
75名
- ③ 平成17年4月16日(土)午後2時から第11回四国ブロック会を開催。午後3時からは香川支部会員による講演・交流行事を、午後5時40分からは2時間の懇親会を持ち、懇親会では「さぬきうどん早食い競争」を企画行事として実施し、会員相互の親睦・交流を図った。
- ④ 17年1月3日
香川支部総会(40名)・神大レポート(Ⅱ)発刊
- ⑤ 2月1日 丸亀ハーフマラソン
応援(神大OB等出場者応援)
- ⑥ 2〜3月 役員会(2/11、3/19)
- ⑦ 4月16日 四国ブロック会・香

川支部臨時総会

4月17日 四国他支部との親睦行事(ゴルフ・歌舞伎)

- 7月 役員会
- 9〜10月 香川支部親睦行事
- 11月 役員会
- 18年1月3日 香川支部総会・神大レポート(Ⅲ)発行予定

九州ブロック会議 鹿児島支部総会

平成17年10月22日



- ① 常務理事 貝田 泰雄
副会長 新井 三夫
専務理事 平能 孝一
- ② 城山観光ホテル
73名
- ③ 平成17年10月22日(土)、当県城山観光ホテルに於いて、九州ブロック会議鹿児島大会を盛大に行うことができました。
- ④ 本学より貝田常務理事、宮陵会本部より新井副会長、平能専務理事(事務局次長)にご参加いただき、ありがとうございます。
- ⑤ 九州各県より各支部長他、多数の出席を得、県支部会員を含め73名の会となりました。

常務理事、副会長より現在の

本学、宮陵会の現状等詳細に説明をいただき、我々地方支部ももっと活性化推進に努力をしなければならぬ事を痛感しました。現在、特になし。

札幌支部総会

平成17年6月18日



- ① 学長 山火 正則
父母懇談会スタッフ
応援指導部学生
- ② 副会長 武笠 健次
ホテル札幌ガーデンパレス
109名
- ③ 創立65周年を迎えた札幌支部は、6月18日(土)に65周年記念札幌支部総会・懇親会を札幌ガーデンパレスにおいて開催した。山火学長はじめ大学関係者(父母懇談会スタッフ)、宮陵会より武笠副会長、応援指導部の学生諸君の参加にて、16時より総会。17時より記念講演。18時より懇親会へと進み、応援指導部のデモンストレーションが華を添え、20時二次会も50名からの参加があり、65周年を大

成功の内に締め繰った。

⑤ 6月18日 支部総会(65周年記念総会) 19日 記念ゴルフコンペ

- 7月9日 北海道ブロック会議(室蘭支部主催)
- 8月27・28日 駅伝チーム合宿応援(深川市)
- 10月 観楓会
- 11月下旬 忘年会
- 1月 新年会・役員会

函館支部総会

平成17年11月5日



- ① 専務理事 秋田 琢次
- ② ホテル テトラ
- ③ 17名
- ④ 秋田専務理事にご臨席いただきまして、例年の通り「ホテルテトラ」にて開催されました。参加者は17名と小人数でありましたが、楽しくなつかしい一夜でありました。専務理事より大学の現況について種々ご説明をいただきました。
- ⑤ 学部、学科の名称が大幅に変更になり、皆大変な驚きでしたが、大学の更なる発展につながるという説明に、大いに期待するということになりました。
- ⑥ 当支部の大先輩であります岡山実郎殿(S・9・専賞)が6月

にお亡くなりになりました。

支部会員の心の支えでしたので誠に残念でなりません。合掌。支部総会の開催。親睦ゴルフ会の開催。

北見支部総会

平成17年5月28日



- ① 北見市ビッツアークホテル 16名
- ② 設立総会以来10年目をむかえました。ご支援、ご協力をいただきました。ご支援、ご協力をいただきました。道内各支部の皆様へ厚く御礼申し上げます。設立10周年を期に今後の支部活動についての話し合いがもたれ、開催時期、場所について一部変更し、現状のまま継続することで議決する。
- ③ H17・7・1
支部会員に平成17年度支部総会報告、支部会員名簿発送。
- ④ H17・7・9
北海道ブロック会議出席(室蘭市)
- ⑤ H17・8・22
遠軽町駅伝チーム合宿
激励会出席

青森支部総会

平成17年11月19日

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② 八戸グランドホテル 14名
- ③ 1年ぶりの総会であったが、参加者が少なく残念でした。今後も継続していくことにより親睦を深めていきたい。ご支援よろしく願います。
- ④ 地区ごとによる忘・新年会等の開催。



岩手支部総会

平成17年11月19日

- ① 事務局次長 小林 孝吉
副会長 武笠 健次
- ② 遠野市たかむろ水光園 40名
- ③ 岩手支部の総会は、初めて県都「盛岡」を離れ、合併し10月に新市長に当選した本田敏秋氏(S45・法律)の遠野市にて開催。本田市長への当選祝いや2月に行われる「新花巻市」の市長選挙に立候補する福岡勝夫支部長への激励も兼ねて宮城支部からも小林支部長をはじめ3

名の役員にも出席をいただいた。本田市長には白井理事長からのメッセージとお祝いの花束を贈っていただき会場にて披露された。当日は最年長の櫻田正興氏（S18・工経）の85才の誕生日でパースディケーキに口ウソクを灯し、会友で祝福するセレモニーも行った。遠野市はいわゆる「どぶろく特区第1号」で、どぶろくを大いに飲み、思い出を大いに語り、大変楽しい総会であった。岩手の会友は今でも校風のように「積極進取」を謳歌している。

- ⑤ 1月 新年交賀会（花巻市にて福岡支部長の告示前日）
- 5月 ゴルフコンペ
- 8月 納涼ビアパーティ
- 11月 定時総会



秋田支部総会

平成17年10月29日

- ① 局次長 稲垣 俊博
- ② アキタパークホテル
- ③ 24名
- ④ 今回の総会は当初30名の出席の予定でしたが、当日のキャンセル等により24名になってしまいました。2、3年前と比べ、

少しですが参加者が増える傾向になっており、新年会は50名を目標に頑張りたいと思っております。

- ⑤ 平成17年10月29日 総会開催
- 平成18年 1月22日 新年会開催予定



秋田支部鹿角会

平成17年11月19日



- ② ホテルガーデンかわむら
- ③ 6名
- ④ 秋田県支部総会の報告から始まり、決算認定及び予算議決の後、会則規定による役員を選任（全員再任）で議事を終了し

た。第2部は中村仁会員（53・法）を講師として「アパレル業界の現状等」に関する講話を行いました。第3部懇親会で全日程を終了した。

- ⑤ 秋田県支部活動への積極参加
- 神大スポーツ、文化振興会への賛助金支援

山形支部総会

平成17年10月2日

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② ホテルキャッスル
- ③ 24名
- ④ 総会、講演会、懇親会を行った。講演会では、山形県庁で総務部長、その後YBC山形放送社長を歴任された吉田勲夫前山形県支部長からたいへん興味深い体験談をもとにしたお話をいただいた。
- ⑤ 支部総会開催
- 全国支部長会出席
- 東北ブロック会議出席
- 平成18年東北ブロック会議開催の準備
- 役員会（随時）



新潟支部総会

平成17年11月12日

- ① 経営企画室長 福元 摩湖
- 教授 秋山 憲治
- ② 新潟東急イン
- ③ 34名
- ④ 二年ぶり開催の今総会は11月12日新潟駅前の東急インにおいて大学より経営企画室長福元様、講師に秋山経済学部教授をお迎えして開催いたしました。郵送した案内の葉書は1970枚、出席は34名（内 女性3名）でした。
- ⑤ 例年11月総会開催致します。



千葉支部総会

平成17年11月6日

- ① 専務理事 平能 孝一
- 他事務局女性1名
- ② 居酒屋「酔虎伝」（船橋市）
- ③ 65名
- ④ 前年度会費等の反省から本年は前々年度で開催した会場に戻しての実施であった。会を盛

りたため、全日本大学駅伝の日付に合わせた日時とし、応援をしながらの会であった。参加人数は昨年より若干減少したものの、大変会は盛り上がりがあった事は良い事だと思おう。会場が少し狭い感があり、今後検討し、尚一層の参加人数の増をはかりたい。

- ⑤ 箱根駅伝への支部有志による沿道応援
- スポーツ振興会への賛助



茨城支部総会

平成17年6月12日

- ① 事務局次長 土方 敏裕
- ② 日立シビックセンター
- ③ 45名
- ④ 6月12日（日）茨城支部総会が県北地区、日立シビックセンターにて開催されました。参加者は45名と盛大に行われました。また懇親会では、今回の試みとしてイベントも行われ、皆が盛り上がり、次回の再会を約束しました。
- ⑤ 平成17年より各地区の役員が揃いましたので、名簿を送付します。今後は各地区の役員も

含めて、つながりも出てきておりますので、計画をしていきたいと思います。

群馬支部総会

平成17年7月2日

- ① 事務局次長 小林 孝吉
- ② 前橋テルサ
- ③ 32名
- ④ 設立総会の後、役員反省会を経て新年会（25名参加）も開催することが出来、はじめての年度の事業報告、決算報告を行いました。まだ当支部の事業に参加する会員数が少なく、より地域に根ざした活動と広報が必要と考えられています。尚、当日8名の欠席者と女性の出席者が0であったことが残念でした。
- ⑤ 1、支部総会
- 平成17年7月2日
- 2、箱根駅伝必勝だるまを陸上競技部に贈呈する
- 3、箱根駅伝応援ツアー
- 平成18年1月3日
- （復路）
- 大学の施設見学と駅伝報告会に出席予定



4、支部新年会
平成18年2月4日(土)
5日(日)
於 ホテル金太夫
(伊香保温泉)



群馬東毛支部総会

平成17年6月18日

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② ホテルバインヒル太田 18名
- ③ 事務局次長の平能様をお迎えして大学及び宮陵会の近況をお聞きし総会終了後、幹事の関田茂夫(50・工経)がメキシコ工場の社長として栄転し、テキーラを送って頂き懇親会の席、皆で分け合い飲み、コクがありまろやかでした。来年は早くも設立10周年で、多数の出席をお願いして、校歌斉唱し一本で開きとなりました。
- ④ 1、6月太田市大学交流チャリティゴルフの参加
- ⑤ 2、6月総会
- 3、10月親睦ゴルフ大会
- 4、1月新年会
- (12月 太田市大学ジャズフェスティバルに)

参加、過去6回出場)
※神大のカレッジサウンズ
オーケストラ出演。

静岡西部支部総会

平成17年9月23日

- ① 専務理事 秋田 琢次
 - ② オークラアクトシティホテル浜松
 - ③ 30名
 - ④ 本年度も遠山支部長のビックバンド「ゴールドンスターズ」を迎え、ジャズの演奏を聴きながら懐かしい大学生活について語り合うことが出来ました。平成12年卒の杉山貴裕氏のトランペット伴奏により校歌を斉唱し、次回の再会を期して本年の総会を終了しました。
 - ⑤ 年間4回(6月、8月、9月、11月)事務局会議を開催し、総会の打ち合わせ・反省会を行います。
- 例年9月末に総会を開催する予定となっております。



愛知みやも会支部総会

平成17年11月26日

- ① 事務局次代行 高橋 規則
- ② 名古屋栄東急イン

③ 30名
④ 平成17年度の定時総会及び懇親会が大学より高橋規則氏をお迎えして名古屋栄東急インにて30名の参加で開催された。田岡会長より議案の報告を受け、原案通りに承認された。その後役員改選にもない次期会長を副会長の多湖秀明氏に引継ぎ、各役員は新会長一任という事にして承認された。その後懇親会に入り、昨年同様シャンソン歌手のアトラクションを楽しみながら、和気藹々と会も盛り上がり、午後9時散開しました。



三重支部総会

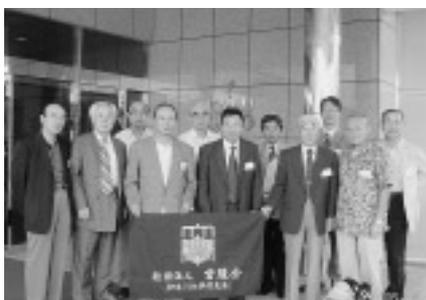
平成17年5月22日

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② ホテルグリーンパーク津 29名
- ③ 今年度は参加者29名と少数となり残念です。分科会的な集まりを4つほど作り更なる参加者の増加に努力します。

大阪支部総会

平成17年6月4日

- ① 事務局次長 高橋 規則
- ② 新阪急ホテル 27名
- ③ 本年27名の参加でした。昨年は通年以上の参加者を得ましたが、少々減少しました。初めての方の参加も得て、毎年行っています参加者全員による自己紹介も大いに盛り上がり、盛大に開催することが出来ました。以前より会員の方々より、現地までいくことが難しいので会員が集い応援する場をとの要望のあった箱根駅伝応援の集いを今年初めて開催することができました。来年も実施することになりました。
- ④ 1、平成17年支部総会 6月4日
- 2、第10回泉州会 11月3日
- 3、平成18年新年会 2月4日予定
- 4、第7回北摂会 2月予定
- 5、同好会活動
- 懇親海外旅行 10月2〜4日
- 支部長杯ゴルフコンペ 2回予定
- 箱根駅伝応援の集い 1月2日



今年度の総会を再建総会とすべく努力致しましたが、出席会員が相変わらず10名程度で、この枠を超えることができません。新役員微力ではありますが、が精一杯努めて参ります。

⑤ 平成18年度は9月頃に支部総会及び近畿ブロック会議開催予定

春・秋2回有志によるゴルフコンペ開催

岡山支部総会

平成17年4月23日

- ① 倉敷ステーションホテル 40名
- ② 役員改選
- ③ 決算報告
- ④ 今期活動方針
- ・ 神大の現状ビデオ放映
- ・ 新役員
- ・ 支部長 安東 達雄
- ・ 事務局長 稲田 龍太郎
- ・ 監事 山内 富親
- ・ 世話人 笹岑 和弘
- 須藤 桂爾
- 堀 道夫
- 島田 尚彰
- 竹好 秀記
- 増川 英一

伯耆支部総会

平成17年7月9日

- ① 事務局次長 土方 敏裕
- ② 米子ニューアーバンホテル 23名
- ③ 平成17年度総会を昨年に引き続き米子ニューアーバンホテルにて開催しました。大学より事務局次長 土方敏裕様のご出席のもとに無事総会を終え、懇親会の席に移りました。今回は2名の初参加者(46年経済卒・大浜一義氏、同・森谷明正氏)を迎え、今後の会員増強、支部活動に対して盛んな意見が出され、秋の出雲大学駅伝へは多数の会員・家族が応援に参じることを誓い、校歌・応援歌の大合唱で盛会のうちに終了しました。
- ④ 1、平成17年7月9日
- 2、平成17年度支部総会 平成17年7月9日



⑤ 8月11日 役員懇親会
9月11日 第1回
ゴルフコンペ
11月 出雲駅伝応援
12月 忘年会
18年4月 総会

- 3、OB懇親会
平成17年10月9日
準会員交流会（応援指
導部、管弦楽部）
- 4、平成17年10月10日
第17回出雲全日本大学
選抜駅伝競走応援
平成18年1月
新年会・箱根駅伝
祝勝会
- 6、平成18年5月6日
会員増強活動
（伯耆支部の案内及び
総会案内）



和歌山支部総会

平成17年6月18日

- ① 事務局次長 稲垣 俊博
 - ② ホテルグランヴィア和歌山
19名
 - ④ 今回の出席者は19名と、こ
こ10年来最低人数となりました
が、大学より稲垣事務局次長を
迎え、大学・宮陵会発展のため
の活発な意見交換が続出し大変
有意義な総会となりました。
 - ⑤ 9月に会報「神和会」第14
号発刊
- 秋にゴルフ会開催
2月に新年会開催

来年度の総会は平成18年6
月25日（日）に決定



兵庫支部総会

平成17年9月18日

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② 楠公会館（神戸市）
41名
- ④ 大学関係者平能氏、大阪・
京滋支部より各2名の出席、初
参加者を含め総勢41名にて支部
総会開催。昨年より増加、少し
嬉しい。しかし未だに平成卒業



生は皆無。今後の課題です。講
演はS34年法卒元検事の田辺信
好氏による「これでいいのか裁
判員制度」。充実した内容で大
変好評だった。再会を約し散会。
⑤ 毎年1月には新年会を行っ
ている。平成17年はたつの市で
近隣在住者に呼びかけて盛大に
行った。平成18年は宝塚市で行
った。毎年増加している。また
毎年9月には支部総会を行って
おり、また、平成17年暮れには
女子サッカー部が全日本大学選
手権に出場したので県下卒業生
に応援の呼びかけを行った。

防長宮陵会支部総会

平成17年11月27日

- ① 事務局次長 平能 孝一
- ② 副会長 磯邊 晃
- ③ ホテルみやげ
25名
- ④ 創立30周年記念総会であっ
た。久しぶりにお二人の来賓に
ご出席いただき、専門学校卒の
大先輩も元気な姿で出席され
た。今年は趣を変え「二胡の演



奏」を取り入れ、ディナーパー
ティー形式になりました。お二
人から宮陵会と大学の現状や将
来図までお話いただき、出場者
全員が一層神奈川大学卒業を誇
りに思いました。懇親会では、
磯邊副会長の相撲甚句に始ま
り、藤野先輩の専門学校校歌で
閉まりました。その間、近況を
話し合い、健康を称えあい。和
やかな時間を過ごしました。

⑤ 17年度末（18年3月）まで
に萩地区での地区総会を開
催する
18年度 本部のホームカミ
ングデーに参加し、支部会
員に紹介、参加をはかる
18年11月中旬 支部総会

香川支部総会

平成18年1月3日

- ① ホテルニューフロンティア
36名
- ② 平成18年1月3日（火）午
後12時から、香川支部総会を開
催した。今年には役員改選の年で
もあり、野田支部長から三谷新
支部長へバトンタッチされた。
総会終了後、写真撮影を行い、
午後1時から懇親会に移り、会
員間の親睦と交流を深めた。
- ⑤ 平成17年1月3日
香川支部総会 神大レポート
IIを発刊

平成17年2月6日
丸亀ハーフマラソン神大選
手（OB含む）の応援
平成17年
2月11日・3月19日
役員会
平成17年4月16日
四国ブロック会議
（香川支部主催）
平成17年4月17日

四国ブロック交流会（歌舞
伎鑑賞会・ゴルフ大会）
平成17年8月21日
神大父母懇談会出席
平成17年10月8日
12月17日
役員会
平成18年1月3日
支部総会（神大レポートIII
は3月末発行予定）



高知支部総会

平成17年12月3日

- ① 副会長 武笠 健次
- ② ホテル日航高知
旭ロイヤル
31名
- ④ 高知支部総会を17時から行
い17時40分〜18時30分まで前土
佐電気鉄道（株）社長に高知の
路面電車についての講演をして
いただいた。路面電車として1
00年以上経っており、現有で
は日本で一番古い。楽しい講演
会であった。
- ⑤ 平成17年4月16日

愛媛支部総会

平成17年12月3日

- ① 教授 山下 昭子
- ② 事務局次長 木川 紘治
- ③ 香川支部次長 野田 清
- ④ 香川支部事務局長
中村 郁男
- ⑤ 国際ホテル松山
34名
- ④ 今年の支部総会は、本学よ
り事務局次長・木川紘治氏、香川
支部長、事務局次長を迎えて開催
されました。本学の事務局長に
おかれましては、初めての愛媛
支部面々にお会い頂き、会員一
同の活動状況、愛媛支部の活動
の状況を視察され、今後の支部
の発展の御期待をもって頂きま
した。また今回も、香川支部の
ご出席を頂き、ブロック会の
益々の発展が期待されます。
今回の支部会では、本学より
ご出席の山下教授に「はばたく
人材」の講演を頂きました。新
年度開設される新学部等、本学
の発展を支部会員一同楽しみに
期待しております。
- ⑤ 平成17年4月16日
第11回四国ブロック会
出席者10名
平成17年4月17日
四国ブロック会親睦
ゴルフ大会
平成17年6月9日
本年度事業計画の役員会
出席者4名
平成17年6月18日

本年度事業計画の役員会
出席者3名
平成17年8月6日
支部総会の役員会
平成17年9月15日
愛媛支部東予地区会開催
出席者9名
平成17年9月17日
愛媛支部宇和島地区会開催
出席者13名
平成17年10月15日全国支部
長会 支部長パネリストに
て説明
平成17年10月16日
大学ホームカミングデー
平成17年12月3日
支部総会開催



愛媛支部東予地区会

平成17年9月15日

- ② 加茂川いもたき会場
8名
- ④ 愛媛県支部総会とは別に東予地区会として毎年1回西条市の秋の風物詩として有名になった「いもたき会」を地区総会として開催しています。
- ⑤ 当日は親睦ゴルフ大会を行

い、夜はこのいもたき会を楽しんでいます



熊本支部総会

平成18年1月28日



- ① 人事室長 勇 真一郎
- ② 鶴屋百貨店東館7階宴会会場 32名
- ④ 毎回の同窓会を箱根の話で盛り上げようと、一月に開いています。
- ⑤ 毎月1回（三木旺会）理事会内の開催、継続
県内地区の同窓会開催（天草、人吉、城北各方面）

福岡支部総会

平成17年6月4日

- ① 事務局次長 平能 孝一
- ② 福岡市「福新楼」

17名

④ 今年もS20年卒の大城戸君まで支部長を中心に17名が同門の誇りを抱いて参集し、終始和やかに歓談することができた大変有意義な総会でした。さらに、本部からの平能孝一事務局次長の参加を頂きましたことを感謝いたします。

- ⑤ 平成17年5月1日 事務局会議
- 平成17年5月9日 福岡支部名簿作成
- 平成17年6月1日 会計監査
- 平成17年6月3日 ゴルフコンペ
- 平成17年6月4日 支部総会
- 平成17年10月22日 九州ブロック会議
- 鹿児島大会
- 平成18年2月11日 支部新年会

北九州支部総会

平成17年11月19日

- ① 人事室長 勇 真一郎
- ② 北九州市中華飯店 「小倉飯店」 21名
- ④ 昨年より参加会費を抑えて行ったが、出席者は少なかった。内容をビンゴゲームなど加え、和気藹々にしたお陰で、昨年より盛り上がりました。本部の便りを見て北九州支部があることを知り、新たに一人参加者が増えたのは本部のお陰であります。
- ⑤ 平成18年度 4月8日 観桜会 8月5日 在学生との ビール会

11月18日 総会

京築地区
2月18日 7月15日
銀会・ビール会予定
その他 役員会数回



佐賀支部総会

平成17年10月30日

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② はぐくれ荘 13名
- ④ 平能専務理事の挨拶の中で教育組織の改編に触れられ、母校の置かれている立場を再認識した。特に新学部の解説と課外活動に対する積極的支援を力説された。地域支部の活性化は全国的な課題であります。地域支部ではスポーツや学問面での活躍で母校の名前が発表され大いに勇気付けられます。母校神大が21世紀において充実した選ばれる大学になるよう支部会員一同尽力したいと思います。
- ⑤ 8月 佐賀支部役員会
10月 九州ブロック鹿児島大会出席
11月 「佐賀県青春春歌祭」へ参加

この春歌祭は佐賀県独自のイベントで蛮性を張り上げ、大学の寮歌、校歌、応援歌を歌い且つ神大のPRにも務めます。今回は他県の応援を受けて頑張りたと思っています。



佐世保支部総会

平成17年12月9日

- ① 専務理事 秋田 琢次
- ② 恵美福 12名
- ④ 支部長挨拶の後、バンコク支部の総会への出席等活動報告がありその後16年度の会計報告及び監査報告が承認されました。秋田専務理事の挨拶があり、17年度よりはじめた長崎支部との交流で江崎氏が来てくれました。懇親会も盛り上がり、二次会、三次会へと楽しい1日でした。

長崎支部総会

平成17年11月19日

- ① 専務理事 秋田 琢次
- ② 長崎グランドホテル 16名
- ④ 2年間のブランクがあり、参加者の人員が気がかりであったが、支部会員14名、佐世保支

部から1名、宮陵会ゲスト1名の16名で盛会であった。特に初参加者2名があり、平成19年の九州ブロック会議ホスト支部としてホップ・ステップ・ジャンプのホップとして合格点が取れたと思っている。

筑豊支部総会

平成17年11月12日

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② プレジデントホテル 16名
- ④ 平成17年度宮陵会筑豊支部（校友の集い）総会は11月12日飯塚市のプリジデントホテルで開催しました。宮陵会本部から平能専務理事にご臨席頂きました。今回は永年務めていただきました松永支部長の退任で、新組織体制の確立で支部の活性化を目指すため他役員も改選された。会員の高齢化がすすみ、出席者が減少するなか、今回は女性会員2名の参加を頂き支部創設以来初めてのことで、会場に花が添えられたことで、和やかなときが流れた。また松永支部長には感謝状が平能専務理事から渡され散会しました。



- ⑤ 平成17年9月16日
支部総会開催について
役員会
平成17年11月1日
総会実施（11月12日）に
当っての実行委員会
平成17年11月12日
平成17年度支部総会及び
懇親会
平成18年1月3日
箱根駅伝応援並びに
役員希望者による懇親会
以降は検討予定

大分支部総会

平成17年7月16日

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② 別府市 四季亭 はな村
22名
- ③ 22名
- ④ 今回の総会は22名と少し参加が少なかったが、平成16年卒のフレッシュOB（？）が参加。来賓の平能専務理事から前支部長の安達好春氏に感謝状が贈呈された。久々の別府での開催で、割烹の名料理に舌鼓を打ちつつ話が盛り上がった。
- ⑤ 平成17年10月22日（土）九州ブロック会議鹿児島大会



保土ヶ谷・旭区支部総会

平成17年5月21日

- ① 専務理事 武笠 健次
② モンテファレーヨコハマ
25名
- ③ 25名
- ④ 1、16年度収支報告並びに
監査報告について（承認）
2、17年度事業計画および
予算について（承認）
3、役員改選について
（承認）

新任役員

- 支部長 矢野達夫（31法卒）
- 副支部長 西条利夫（36賢卒）
- 事務局長 谷 浩輔（40法卒）
- 幹事 齋藤利弘（39経卒）
下川洋司（42賢卒）
- ⑤ 1、役員会・総会の開催
2、支部の一層の足固めと
活性化をはかる
3、支部会員名簿の作成

神奈川区支部総会

平成17年10月22日

- ① 学生生活支援部事務部長
打田 一夫
- ② 副会長 磯邊 晃
横浜桜木町
ブリーズベイホテル
22名
- ③ 22名
- ④ 宮陵会のますますの発展、
衷心よりお慶び申し上げます。
支部結成30周年を迎え平成17年
度宮陵会神奈川区支部総会を10
月22日に桜木町駅前ブリーズベ
イホテルにて開催することに相
成り宮陵会本部より磯邊晃副会
長、大学当局より打田一夫学生

生活支援部事務部長が参加され
会員22名により盛大に挙行しま
した。今後とも大学、宮陵会に
対し協力と支援すること全員一
致で約束し散会いたしました。



津久井支部総会

平成18年2月19日

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② 青山コミュニティー
センター
- ③ 11名
- ④ 1、朝倉支部長の挨拶
支部の経営にあたり「魅力の
ある会」を目指しバーベキュー
大会、バンコク支部交流旅行、
会報の発行など努力しているが
なかなか笛吹けど踊らず、今回
支部総会の出欠の返事は33通/
212でした。宮陵会はOBの
会ではありませんが、我々OBが
学生のため、神大の発展のため
何が出来るか考え、貢献する会
と考えます。私の持論ですが、
学生の募集について「支部推薦
枠」を設け各支部より（地方）
学生を入学させる。これからの



○野球の応援・相模原球場での試合には出来るだけ応援してあげましょう。日程等については関東学院のHPが詳しいので参照してください。

○バーベキュー大会・いつ参加者の募集は？
6月4日(日)に決定。会員およびその家族、友人を対象。現役学生の参加を期待して徹夜にクラブや学生課にはたらい現役学生の参加をよびかける。

陸上競技部、空手道部、応援指導部に些少ながら助成します。

少子化時代の学生の確保、全国から学生を集めるのに有効な手段と考えます。(現在の神大は地方出身の学生が築いたものといっても過言ではないくらい)の地方出身のOBが活躍しています。最近の地方出身学生の減少を残念に思っています。(もう一つ、寄附や会費だけに頼らず神大、宮陵会の動産、不動産を駆使して収益を上げることが検討していただきたい。)

⑤ 18年度活動予定
○クラブ助成金は？このクラブ？いくら？

照の事。

○第3回バンコク支部交流旅行・小遣いと閑と体力のある方は是非参加してください。11月11日の前後1週間を予定しています。観光、工場見学などを考えています。ご希望をどうぞ。

○箱根駅伝応援・最近どうも具合が悪いですが、10月21日(土)の予選会をパスしたら熱烈応援をお願いします。

箱根支部総会

平成17年6月9日

- ① ホテルおかだ 15名
- ② 会員相互の親睦を大切に、情報交換と神大を含む箱根発展の為の意見、考えを出し合っている。
- ③ 箱根駅伝の応援 湯本、大平台、ゴールに分けて行う。
- ④ ゴルフ大会

平塚支部総会

平成17年6月11日

- ① 事務局長 木川 紘治
- ② スポーツプラザ神奈中 19名
- ③ 木川事務局長より大学の現状と展望、現在活躍する学生の動向等の話を伺い、母校に矜持できる心強い内容であった。懇親会では3名の津軽三味線奏者を招き賑やかな会であった。総会出席者が予想どおり少なかったのが残念。
- ④ 箱根駅伝の応援及び1月3日にホテルサンライフにて新年

懇親会

キャンパス訪問等



西多摩支部総会

平成17年6月5日

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② 羽村市 五ノ神会館 8名
- ③ 出席率は相変わらず低く、常連の高齢者は健康上の理由で欠席が増えました。新規参加者を増やすため、同じ卒業年度、同じ会社関係の人、同じ地域の人への電話で出席の動機付けをしたい。欠席者でも会費郵送者が微増しました。
- ④ 年1回の総会と役員中心に

年7回の定例会を開催しました。また、年1回の会報を総会開催通知に同封しました。本部や大学の近況は代議員会や通常総会、ホームカミングデーへ出席し、会員へ情報提供をしました。

南足柄支部総会

平成17年6月11日

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② 南足柄市共学館 21名
- ③ 総会出席21名、委任状12で会則の総会成立条件を満たして、副支部長大野保忠(S27、法経・経卒)によって議長の出が行われ、茂原英市(S39、法経・経卒)議長により平成16年度事業報告、決算報告に引き続き平成17年度の事業報告、予算案の審議がなされ、支部会則の改正で顧問、相談役を置くことになる。役員改正年度のため支部長(鈴木正行S27、法経・貿卒)の留任、福支部長に安藤力(S26、専・電卒)、神部秀(S28、法経・経卒)が選出され、新顧問・相談役には加藤政則(S24、専・貿卒)、大野保忠が選出された。なお、審議前に宮陵会本部専務理事の平能氏から本部などの現状が説明された。なお、箱根支部から村上東司事務局長が総会から参加された。審議終了後に懇親会が開かれ、会員の現状報告、会員の近況報告など和気藹々に行われた。
- ④ 平成17年度事業計画
- ⑤ 会則に基づき、名簿の整備および会報(支部だより)の発行を行う。
- 2、会員相互の親睦行事の計画

をする。

- 3、母校の東京箱根間往復駅伝競走の応援を行う。
- 4、近隣市町の同窓会との交流を深め支部の充実を図ると共に在校生との懇親を深める。
- 5、隣接宮陵会支部との懇親を深める。

日本鋼管支部総会

平成17年7月1日



- ① 理事長 大野 泰
- ② 副会長 武笠 健次
- ③ 神奈川大学横浜キャンパス1号館8F 22名

三洋みやも支部総会

平成17年11月25日



- ④ 日本鋼管支部は、今年が支部創立三十年の記念の年となります。総会は横浜キャンパス1号館8階のレストランで行い、黙祷後例年の式次第に加え30年間の支部の「あゆみ」のまとめと支部発展に尽力された先輩への感謝状・記念品の贈呈を行いました。遠路広島県福山市から3名の出席もあり、懐かしく又有意義なときを過ごすことが出来ました。
- ⑤ 月1回 幹事会
年1回 支部総会
- ① 専務理事 秋田 琢次
- ② 第一ホテル日本橋店 14名(来賓含む)
- ③ 当日は13名の会員が出席、来賓の社団法人宮陵会秋田専務理事から大学の現状や陸上競技部などの各部の活躍を伺うことができ、大変参考になりました。三洋みやも会の母体であるはずの三洋証券は残念ながら無くなってしまいました。三洋の同窓生であると同時に、三洋証券で苦楽を共にした仲間意識を大事にし、今後も会員の交流の場としての三洋みやも会を継続していく決意を改めて全員で確認し、閉会いたしました。
- ⑤ 年1回総会開催

クリエートメテック
支部総会

平成17年11月5日



- ① 専務理事 平能 孝一
- ② 神奈川大学箱根保養所
- ③ 11名
- ④ 平成17年11月5日、平能専務理事のご出席をいただき、第18回支部総会を箱根保養所にて開催しました。総会および懇親会では、平能様より大学や宮陵会の近況などお話しをいただき、楽しく有意義な総会となりました。
- ⑤ 年一回支部総会および懇親会開催

会計人会支部総会

平成17年7月15日

- ① 事務局次長 高橋 規則
- ② 教授 西川 登
- ③ 教授 田中 弘
- ④ 副会長 武笠 健次
- ⑤ 新横浜グレイスホテル
- ⑥ 46名
- ⑦ 本日のスケジュールは3部構成で行った。第1部は第12回定時総会です。狩野議長のもとで、第1号議案から第4号議案まで全て原案どおり承認可決された。第2部は講演会を行い「中小企業の会計指針の総合化

と会計参与制度について」の演題で西川教授にお願いした。第3部は懇親会になり、来賓として大学、宮陵会の出席者のほか、友好会計人会から駿台会計人倶楽部、中央大学会計人会など8大学の代表や金融機関、簿記学校の方々等多数出席された。又、新入会員3名からスピーチ等をして頂き交流を深め盛會理であった。



十五宮面会支部総会

平成17年4月23日

- ① メルパルク東京
- ② 9名



- ④ 卒業後65年目に当たる今年まで続けようとの会員の希望で続けて来た。会員の減少で解散の時期に来たと思う。
- ⑤ 従来年1回続けて来た。

みやも電華会支部総会

平成17年6月5日

⑤ 前事業年度に委員会の設置が決定され、各委員会より年間の事業計画が提出されています。

- ② 静岡県浜名湖 館山寺温泉「サゴロイナルホテル」
- ③ 20名
- ④ 平成17年度第37回みやも電華会（昭和20年電気科卒同期）の定例総会は好天に恵まれ、浜名湖の湖水を一望する会場に於いて関東・中部・関西・中国・九州から会員16名、ご同伴の奥様4名の20名の方々が参集し、盛大に開催されました。

今年度は学校卒業以来丁度60年、80を越えまだまだ元気ななかまの参集を得て、湖畔で母校校友会の校旗を前にして、記念撮影の後、11階屋上の展望風呂で先ず旅の疲れを取り、会員からの出欠返信時の近況連絡を纏めた一覧表と、新たな会員名簿を配布し総会を開催。総会では役員・会の運営・次回開催地等を決定し、懇親会に入った。

懇親会では奥様方も一緒にとなり、先ずこの5月11日に逝去された久保山君の奥様のお手紙を代読してご披露し、彼のご冥福を祈り、歓談に入った。会が進むにつれ、学生時代の童顔に戻り、宮面丘での授業・勤労働員の苦勞など、若い青春を振り返り、過ぎ去った60年を語り合い、楽しいひと時を過ごした。翌朝、愛知万博を見学する者、家路につく者と、それぞれの健康を祈念し、来年度の再開を約して解散した。

三三三支部

平成18年2月4日



- ① 専務理事 平能 孝一
- ② 横浜ブラザホテル
- ③ 33名
- ④ 第25回三三三支部総会は、新年会を兼ね2月4日（土）正午より午後3時迄ヨコハマブラザホテルに於いて開催された。会長開会宣言挨拶後、同期同窓生物故者に対し黙祷、次に来賓、宮陵会専務理事平能孝一様より祝辞をいただき、乾杯は新井三夫（貿易）、中々は堤宏（電気）により行われた。今回は奇しくも33名の出席者を見、中には十数年振りの者や、病を押して懐かしい友に会いにそして遠方よりの出席者などにより会場の円卓はなごやかに盛り上がり、来る2008年50周年には元気に会う事を誓い閉会した。
- ⑤ (1) 役員幹事会開催
(2) ゴルフコンペ
(3) 総会
(4) 忘年会

宮陵三四会支部総会

平成17年5月14日



- ① 専務理事 武笠 健次
- ② 神奈川大学ラックスホール
- ③ 54名
- ④ 昨年10月9日に実施予定であったが、台風22号の襲来により中止を余儀なくされ、改めて今年実施したのである。宮陵会本部から武笠専務理事のご臨席を得て、会員54名の出席のもと実施した。総会では会長挨拶、来賓祝辞（大学の改革や宮陵会の状況等の説明を含め）の後、議事にはいり活動報告、会計報告、役員改選、今後の活動方針について承認を得て閉会した。特に今後については、次回総会を4年後（卒業後50年）大学実施のホームカミングデー招待対象年）に開催し、これを機に「宮陵三四会」は解散することとした。引き続き記念写真の撮影を行い、舞台は懇親会に移り、最

初にフラメンコ部の皆さんの若々しい演技に元気づけられ、乾杯、歓談（各自の近況報告や余興等を交え）と学生時代さながらの楽しいひとときを過ごし、最後に校歌、応援歌、寮歌を高らかに歌い上げ無事と再開を約し散会した。

原陵会支部総会

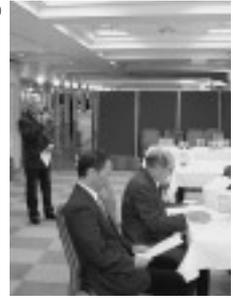
平成17年12月3日



- ① 専務理事 秋田 琢次
- ② 神奈川大学8号館教室
- ③ 65名
- ④ 本会は原司郎先生のゼミナール卒業生520名で構成されています。毎年12月に先生を囲んで、総会と懇親会を開催していますが、今回は奥様にもご出席頂き、先生の喜寿をお祝いする記念の催しとなりました。
- ⑤ ゼミ生は昭和31年卒から平成6年卒まで39回生の仲間が居ますが、各回生毎の懇親会を適宜開催。
年末に先生ご夫婦の出席のもと、全OBに声を掛けて、総会と懇親会を開催。

**ボクシング部
OB会支部総会**

平成17年12月3日



① 体育振興委員長
手塚 正

② 神奈川大学ラックスホール
18名

③ OB参加18名と今回は人数
が少なかつたのですが、200

4年度活動、決算報告、200

5年度活動、予算案を報告し、

現在の部の状況、創部60周年、

部のユニホームについての話を

しました。総会後は、現役部員

(22名)と招待の方を迎え懇親

会を開催しました。

⑤ 4月..毎年春に開催される

関東大学トーナメント(現

在4部)の試合案内

7月末から8月始めにト

ナメント報告および新入生

歓迎会を開催

9月..毎年秋から冬に開催

される神奈川県リーグの試

合案内

11月末から12月始めにOB会

総会を開催

その他冠婚葬祭の際は、祝

電、弔電等を手配する。

空手部OB会支部総会

平成17年6月18日

① 専務理事 秋田琢次様

② 神大生協ラックスホール

③ 15名

④ 例年になく若手OBの出席

が増え、15名のOBにて総会が
開催された。

宮陵会より秋田専務理事がご
多忙の所ご出席され、大学の現
状、二〇〇六年の大学変革等に
関しご説明され、一同熱心に拝
聴した。

主議題として、(1)、役員改選
が提議され、新会長に中山氏、
新監督に津幡氏が選任された。
(2)、11月5日(土)に創部65周年
記念式典を企画しており、実行
委員会よりOB各位の多数の参
加を呼びかけられた。

総会終了後は、学生との合同
懇親会が開かれ、総勢50余名の
参加者で大いに盛り上がり、O
B・学生との交流が計られた。

⑤ 平成17年7月9日OB幹事
会(創部65周年記念式典、
実行委員会)

7月30日 OB幹事会(同)

8月9日 OB幹事会(同)

8月20日 OB幹事会(同)

9月2日 OB幹事会(同)

10月1日 OB幹事会(同)

10月8日 OB幹事会(同)

10月22日 OB幹事会(同)

11月5日 創部65周年記念



式典及び懇親会

小川監督は、一年にわたる闘
病にも拘わらず、7月28日御逝
去されました。享年59歳。

8月1日大鳥居にてお通夜が
執り行われ、OB関係者及び学
生が多数参列し悲しい別れをし
ました。

茲に、生前の空手部への貢献
を称え、御冥福をお祈り致しま
す。 合掌

**アメリカンフットボール部
OB会支部総会**

平成17年6月18日



① 事務局次長 高橋 規則

② 専務理事 秋田 琢次

③ 神奈川大学ラックスホール

④ 38名

⑤ 総会では初めに16年度事業

報告・会計報告、17年度事業計

画案・予算案が諮られ審議の結

果、原案のとおり承認された。

次にアトムズOB会組織問題や

会費の問題について審議し、た

くさんのご意見をいただいた。

⑤ 5月理事会 6月理事会・

総会 8月合宿差入れ 9月か

ら11月リーグ戦応援(うち10月

第3週の試合応援強化の為OB

集合)

柔道部OB会支部総会

平成17年12月10日

- ① 専務理事 平能 孝一
体育振興委員長
- ② 手塚 正
- ③ 14名

- ④ 大学・宮陵会からの参列を頂き、伊藤洋OB会長の元で午後4時より総会を開催しました。平成17年度の活動報告
- (1) 現役柔道部との関わり
- 2..宮陵会との関わり
- 3..OB会との関わり)と会計報告の後、平能専務理事と手塚体育振興委員長より大学の現状についての報告をいただきました。その後、平成18年度の事業計画の報告をして参加者の賛同を得て無事に終了いたしました。
- ⑤ 平成18年度事業計画
- (1) 新入生歓迎会・夏期合宿壮行会・総会及び納会への参加
- (2) OB会員の名簿の作成(個人情報保護法の検討)
- (3) 宮陵会行事への参加
- (4) OB会親睦会への参加



学士山岳会OB会支部総会

平成17年6月18日



- ② 神奈川大学箱根保養所
- ③ 22名
- ④ 去る平成17年6月18日(土)箱根保養所にて、第4回神奈川大学学士山岳会の理事会並びに定期総会が開催され、事業報告、決算報告、次年度事業計画、予算案、役員改正案等が承認された。
- ⑤ 4月 新入部員獲得応援

- ⑥ 4月 新入部員獲得応援
- 谷川岳、富士山、岩登り合宿、
- キリマンジェ口遠征支援
- 5月〜7月 強化山行支援
- 8月 夏山合宿応援
- 10月 ハケ岳、西岳親睦山行
- 12月 富士山強化合宿支援
- 1月 赤倉親睦スキー
- 2月3月 マッキンレー遠征の

レスリング部OB会支部総会

平成17年11月3日

- ① 専務局次長 平能 孝一
- 専務理事 秋田 琢次
- レスリング部 関口副部長
- 吉本監督

開野マネージャー

- ② 神奈川大学
- 横浜キャンパス1号館
- ③ 51(現役33)名

- ④ OB会々員の親睦、現役部員の援助、大学及び宮陵会発展を目的に、支部・後援会活動を継続させる大切な総会としております。現役に対しては、古き良き神大を伝える数少ない対話の場としております。
- ⑤ 東日本学生レスリング・リーグの1部校としての存在を確立していく為の各大会への観戦及び応援。

OB会継続の為、年1回の総会開催及び年3回の会報送付。宮陵会支部として、代議員会及び総会への出席により、大学・宮陵会との密なる接触を持つようにする。



ラグビー部OB会支部総会

平成17年4月29日

- ① 専務理事 秋田 琢次
- 神奈川大学附属中学校
- キャンパス
- ② 28名

- ④ 恒例のラグビー部OB会支部総会は、例年どおりに行いました。恒例になっている現役とOBとのゲームは今年中止して、独教大学との親善試合を行

い、その後総会を行いました。総会終了後に現役を交え懇親会も例年通り行いました。

- ⑤ 毎年ゴールデンウィークの初日に総会実施。
- 2ヶ月に一度幹事会開催。
- 7月初頭にOBに会報送付(今年は33号) OB会費納付依頼。
- 8月後半〜9月初旬
- 菅平夏合宿に平塚第二次合宿応援。
- 10月〜12月
- 公式戦応援指導。OB会費の中から現役に援助。

OB会継続の為、年1回の総会開催及び年3回の会報送付。宮陵会支部として、代議員会及び総会への出席により、大学・宮陵会との密なる接触を持つようにする。



卓球部OB会支部総会

平成17年11月12日

- ① 学生生活支援部長
- 打田 一夫
- ② 神奈川大学横浜キャンパス
- 19号館ラックスホール
- ③ 40名(うち卓球部1名)

- ④ 卓球部の指導体制の整備はOB会にとっても長年の懸案であり、種々論議をしてきました。17年度より意欲ある卓球部長が新しく就任されたことが総会で明るい話題となりました。また、OB会の体制について役員人事の若返りなど意見が述べられ今後の課題となりました。
- ⑤ 1、会員名簿の作成・配付
- 2、卓球部の試合の「応援&懇親の会」の

開催

- 3、親睦ゴルフ大会の開催
- 4、卓球部の支援・指導
- 5、定例総会の開催



清輝会支部総会

平成17年5月21日

- ② 長崎雲仙
- ③ 15名

- ④ 毎年1回総会を開いています。横浜の地、横須賀と順に北は山形、西は岡山、四国、そして今年長崎まで行き、地方の方々の交流を行いました。広島の方、熊本の方が新しく参加



されました。⑤ 最年少者が38年卒業生ですののでいつまで続けられるかわかりません。

写真研究部OB会支部総会

平成17年6月4日

- ① 専務理事 秋田 琢次
- ② 神奈川大学横浜キャンパス
- 本館8F会議室
- ③ 23名

- ④ 10年ぶりの横浜での開催なので、新しくなった母校を皆様に訪れていただくことの趣旨で、本館8階の会議室をお借りして行いました。参加者は23名と少なかつたのですが、久しぶりに母校を訪れたOBはみんな驚いておりました。議事後は隣接のレストランで見事な眺望を眺めながら懇親会でした。
- ⑤ 4月〜3月を1期として活動。毎年6月第一週にOB総会を開催し、年間の活動費の決算報告を行っています。

- 同時開催行事として、テニス大会やゴルフコンペを行う年もあります。12月の現役生の横浜四大学合同写真展への生花寄贈を毎年続けております。

